

館山市の文化財



たてやまかいぐんごうくろくたいあかやまちかごうあと
89 館山海軍航空隊赤山地下壕跡

合計した長さが約1.6kmと全国的にも大きな防空壕で、館山市を代表する戦争遺跡のひとつです。太平洋戦争で、館山海軍航空隊の防空壕として使用され、自力発電所、工作科格納庫、応急治療所などがありました。

開壕時間：9:30～16:00（入館は15:30まで）

休 壕 日：毎月第3火曜日、年末年始

住 所：294-0036

予 約：豊津ホール 0470-24-1911

お問合せ：生涯学習課 0470-22-3698



鶴谷八幡神社 百態の竜



ぬま
**91 沼のびゃくしん
〈十二天神社〉**

十二天神社の境内にあり、県内で最も大きなビャクシンの木です。幹周7.45m、樹高17m、枝張り東西20m、南北24mでかたちのよい樹容をみせています。推定樹齢は約800年で、ハゼの木、イヌビワなどが着生しています。

館山市教育委員会生涯学習課
2017.1.31



さとみししろあと いなむらじょうあと
9 里見氏城跡 稲村城跡〈稲村城〉

16世紀前半に3代義通が安房国支配の拠点にした城で、4代義豊が5代義隆に攻め滅ぼされた「天文の内訌」と呼ばれる内乱の舞台となりました。内乱を契機に城郭機能を停止したため、戦国時代後半の改変が加えられていない戦国前期の城跡の姿をとどめています。



たてやましろあと
82 館山城跡 〈館山城・城山公園〉

9代義康が交易の拠点を大きな湊を持つ館山に定め、天正19年（1591）に本城を移しました。ここが里見氏最後の居城となりますが、その間につくられた城下町が現在の館山市の基礎となりました。

房総里見氏

房総里見氏は戦国時代から江戸時代初頭まで10代約170年間にわたり、房総半島南部を支配した一族です。



つるがやばちまんじんじゅ ひゃくたい りゅう
44 鶴谷八幡神社 百態の竜〈鶴谷八幡宮〉

拜殿向拝の格天井にはめ込まれた彫刻で、中央の鏡天井の竜を中心に周囲に54態の様々な竜の姿が組みられています。ごはい ごうてんじゅう ことりへえたちばなのよしみつ 後藤利兵衛 橋 義光による作品で、文久年間の八幡宮拜殿修復の際、多くの人々の寄付によって奉納され、慶応2年（1866）に完成しました。



あわ
23 安房やわたんまち 〈鶴谷八幡宮〉

9月の中旬に鶴谷八幡宮で行われる祭礼です。現在は10社の神輿と5社の山車・お船が集結します。江戸時代は「放生会」と呼ばれていましたが、昭和の初めから「国司祭」の名が使われるようになりました。かつては別当寺である那古寺から僧形八幡神像を鶴谷八幡宮に移し祀ってから祭礼を執り行いました。



ほんしゅう
**2 梵 鐘（弘安9年在銘）
〈小網寺〉**

弘安9年（1286）に鎌倉のいもじ もののべのくにみつ 鋳物師・物部国光が鋳造しました。総高は107.5cm、口径は62.1cmで、3段組で鋳上げられ、乳は4段4列、上帯には飛雲文と日月を、下帯には密教法具の三鈷杵を肉高に鋳出し、池の間には銘文が陽刻されています。



こあみじちゅうどうみつぎきょうぼうく
**15 小網寺鋳銅密教法具
〈館山市立博物館 寄託〉**

とっしよ ごてしよ ごこれい ごんごうばん かつま かつまだい りんぼう 独鈷杵、五鈷杵、五鈷鈴、金剛盤、羯磨、羯磨台、輪宝、四槩、花瓶、蓮華形柄香炉の21点があり、金剛盤、花瓶、羯磨台の底には、称名寺（横濱市）の開山である「審海」の銘が刻まれています。これらの法具は、称名寺が房総半島に所領や末寺を持っていた時期に小網寺に伝えられた可能性があり、東京湾を挟んだ相模と安房との文化の交流を考えるうえで貴重な資料といえます。



まがいじゅういちめんかんりのんりゅうぞう
**42 磨崖十一面観音立像
〈崖の観音（大福寺）〉**

大福寺背後の崖面中段に彫られた磨崖仏です。像を覆う観音堂が断崖の中段に飛び出すように建てられたかざんり 懸造で、一般に「崖の観音」と呼ばれ親しまれています。寺伝では、漁民の海上安全と豊漁を祈願するために作られたとされています。

※覆屋の中にあるため、立像の全体を見ることはできません。



ぼうそうほんとう ぎょうようぐ
**3 房総半島の漁撈用具
〈渚の博物館（館山市立博物館分館）〉**

房総半島沿岸の海の生活に関わる資料のうち特に貴重なものとして、2,144点が国の指定を受けています。明治期の器械潜水用具や捕鯨用グリーンー砲、大漁祝いの漁師の祝い着である方祝などがあり、渚の博物館（館山市立博物館分館）で紹介しています。



もくぞうにょらいぎょうざうぞう
14 木造如来形坐像（館山市立博物館本館 寄託）

一木造特有の量感に富む表現が見られ、平安時代初期の彫刻の面影を残していますが、静穏な表現に向かいつつあった10世紀から11世紀初め頃の中央様式の反映をみることができます。この仏像のあった千祥寺は、廃寺となった日祥院・千歳寺・日乗院が合併した寺で、いずれかの寺院にあったと考えられます。



あわじんじゅうかつぎ
64 安房神社高环〈安房神社〉 ※公開していません。

安房神社は安房国一宮で、祭神は天太玉命を主神としています。「古語拾遺」の安房開拓神話に登場する安房忌部氏の祖 天富命が祖神を祀ったものとされ、平安時代の「延喜式」には「安房坐神社」と記される大社です。大正8年（1919）下宮再建工事の時、現在の社殿の下に当たる位置から土師器の高環が出土しました。5世紀初頭の祭祀に使われたと考えられるもので、古墳時代の神まつりが行われた聖地に安房神社が建てられていることがわかります。



なごじ かんのだう
10 那古寺観音堂（那古寺）

坂東三十三観音の納札所である那古寺の観音堂は、館山湾を見渡す那古山の中腹に建ち、海上の保安や航海の安全を祈る対象として信仰されています。元禄16年（1703）の大地震で倒壊した後、享保17年（1732）に再建されました。



どうぞうせんじゅはんのんりゅうぞう
**1 銅造千手観音立像
〈那古寺〉**

鎌倉時代中頃に製作された千手観音菩薩像で、脇手右前列の接合部には、願主と思われる「平胤時」という人名が刻まれています。この人物は源頼朝の御家人千葉常胤の孫と考えられ、東国武士の信仰による確実な造像例としても貴重です。※内陣にあるため、近くで見学することはできません。



こたにけじゅうたく
35 小谷家住宅

漁業で栄えた布良に残る明治中期の上層漁家です。分棟型民家の系統をひいており、屋根を椋瓦葺き、一部を大壁造りとした防火造りとし、伝統的な間取りを脱して近代的間取りの傾向を示している点に特徴があります。また、明治期の洋画家青木繁が寄寓して「海の幸」（重要文化財）の制作にかかわった家としても広く知られています。

青木繁「海の幸」記念館 ※基本土日公開
管理運営：青木繁「海の幸」誕生の家と記念碑を保存する会
電 話：0470-22-8271



すのさきとうだい
10 洲崎灯台

東京湾入口で首都圏への安全航海を支える灯台です。対岸の三浦半島端部にある剱埼灯台と対になって東京湾と太平洋の境界を成しています。大正8年（1919）に洲崎の庚申山に建設され、同年12月15日に初点灯しました。



館山市立博物館（本館・館山城）

本館は房総の戦国武将里見氏及び館山市の歴史と民俗資料を紹介しています。館山城は、「南総里見八犬伝」をテーマに版本や錦絵を展示しています。

開館時間：9:00～16:45（入館は16:30まで）

休 館 日：月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始

住 所：294-0036

千葉県館山市館山351-2

電 話：0470-23-5212



渚の博物館（館山市立博物館分館）

房総半島各地の海と生活に関わる資料を展示しています。開館時間：9:00～16:45（入館は16:30まで）

休 館 日：毎月最終月曜日、年末年始

住 所：294-0036

千葉県館山市館山1564-1

渚の駅たてやま内

電 話：0470-22-3606



すのさき
22 洲崎のミノコオドリ〈洲崎神社〉

2月の初午と8月20日～22日の洲崎神社例祭に奉納されます。「みろく踊り」と「かしま踊り」の2種類からなり、踊り手は小学生から中学生までの女子が中心です。オンドトリと呼ばれる太鼓役と歌役が中央に座り、その周りを踊り手たちが円形に取り巻き、太鼓と歌に合わせて踊ります。



なたざりどうけつ
**25 鉈切洞穴
〈船越 鉈切神社・鉈切洞穴〉**

自然の営みで作られた海食洞穴で、地殻運動によって隆起し、現在は館山湾に面した標高約25mの海岸段丘上にあります。この洞穴は縄文時代後期から使用され、古墳時代には一部が墓所として利用されました。その後は海神を祀る神社として地元漁民の信仰を集めてきました。鹿角製釣針や鈺のほか魚の骨や貝類などが出土しています。

館山市の文化財一覧

国指定 5件

番号	種別	名称	所在地	見学
1	有形文化財(彫刻)	銅造千手観音立像	那古	△本館に複製あり
2	有形文化財(工芸品)	梵鐘(弘安九年在銘)	出野尾	○
3	民俗文化財(有形)	房総半島の漁撈用具	館山	○分館
4	民俗文化財(無形)	茂名の里芋祭り	茂名	△2/20
5	記念物(史跡)	里見氏城跡 稲村城跡	稲	○

県指定 25件

番号	種別	名称	所在地	見学
6	有形文化財(建造物)	那古寺多宝塔 附 木造宝塔	那古	△木造宝塔は不可、外観のみ
7	有形文化財(建造物)	大蔵院四面石塔 附 石製水向	大網	○
8	有形文化財(建造物)	手力雄神社本殿	大井	○
9	有形文化財(建造物)	石井家住宅	畑	×解体保存中
10	有形文化財(建造物)	那古寺観音堂 附 厨子	那古	○
11	有形文化財(建造物)	千葉県立安房南高等学校旧第一校舎	北条	△
12	有形文化財(絵画)	絹本着色僧形八幡神像	那古	×
13	有形文化財(彫刻)	木造阿弥陀如来坐像	那古	×
14	有形文化財(彫刻)	木造如来形坐像	大神宮	○本館
15	有形文化財(工芸品)	小網寺鑄銅密教法具	出野尾	△複製(7-マ開館時のみ)
16	有形文化財(工芸品)	繡字法華経普門品	那古	×
17	有形文化財(書跡典籍等)	観世音経及び孔雀王咒経 附 那古寺文書	那古	△経巻のみ本館
18	無形文化財	綴綿織	八幡	○分館
19	無形文化財	館山唐棧織	長須賀	○分館
20	民俗文化財(有形)	神余の弘法井戸	神余	○
21	民俗文化財(有形)	房総半島の万祝及び製作関連資料	館山	○分館
22	民俗文化財(無形)	洲崎のミノコドリ	洲崎	△8/21
23	民俗文化財(無形)	安房やわたんまち	八幡	△敬老の日の前の土日
24	記念物(史跡)	安房神社洞窟遺跡	大神宮	×
25	記念物(史跡)	鉦切洞穴	浜田	△
26	記念物(史跡)	安房国分寺跡	国分	○
27	記念物(天然記念物)	沼サンゴ層	沼	○
28	記念物(天然記念物)	洲崎神社自然林	洲崎	○
29	記念物(天然記念物)	布良の海食洞と鍾乳石	布良	×
30	記念物(天然記念物)	南房総の地震隆起段丘	浜田	○

市指定 68件

番号	種別	名称	所在地	見学
31	有形文化財(建造物)	洲崎神社本殿	洲崎	○
32	有形文化財(建造物)	鶴谷八幡神社本殿	八幡	○
33	有形文化財(建造物)	千手院宝篋印塔	安東	○
34	有形文化財(建造物)	応永八年在銘宝篋印塔	香	×
35	有形文化財(建造物)	小谷家住宅	布良	○青木繁「海の幸」記念館
36	有形文化財(絵画)	慈恩大師画像	大網	×
37	有形文化財(絵画)	歌舞伎大絵馬	那古	△
38	有形文化財(彫刻)	那古寺木造千手観音立像	那古	×
39	有形文化財(彫刻)	木造阿弥陀如来坐像	大網	×
40	有形文化財(彫刻)	慶長十三年紀年肖像彫刻二軀	大網	×
41	有形文化財(彫刻)	木造天部像	洲宮	×
42	有形文化財(彫刻)	磨崖十一面観音立像	船形	△崖の観音(大福寺)
43	有形文化財(彫刻)	木造聖観音立像	出野尾	△本館(7-マ開館時のみ)
44	有形文化財(彫刻)	鶴谷八幡神社百態の竜	八幡	○
45	有形文化財(彫刻)	石像地藏菩薩坐像	安東	△
46	有形文化財(彫刻)	木造阿弥陀如来坐像	神余	×
47	有形文化財(彫刻)	木造地藏菩薩立像	竹原	×

市指定 68件

番号	種別	名称	所在地	見学
48	有形文化財(工芸品)	双鳥花草文八咫鏡 双鳥花文円鏡	大神宮	×
49	有形文化財(工芸品)	船越鉦切神社鉦口	浜田	×
50	有形文化財(工芸品)	刀 銘「守家」	八幡	×
51	有形文化財(工芸品)	水晶製六角五輪塔形舍利塔	神余	×
52	有形文化財(書跡典籍等)	検地帳	竹原	△本館
53	有形文化財(書跡典籍等)	十二因縁論	大網	×
54	有形文化財(書跡典籍等)	絹本名号本尊	大網	×
55	有形文化財(書跡典籍等)	洲宮神社縁起	洲宮	×
56	有形文化財(書跡典籍等)	岡嶋家所伝安房忌部系図	大神宮	×
57	有形文化財(書跡典籍等)	洲崎大明神縁起	洲崎	×
58	有形文化財(書跡典籍等)	宋版「孫真人玉函方」他	館山	△本館
59	有形文化財(古文書)	里見氏関係文書	館山	○本館
60	有形文化財(考古資料等)	船越鉦切神社奉納独木舟	浜田	×
61	有形文化財(考古資料等)	鶴谷八幡神社襦袢	八幡	○本館
62	有形文化財(考古資料等)	元應版紙	大網	×
63	有形文化財(考古資料等)	祭祀用土製模造品	洲宮	○本館
64	有形文化財(考古資料等)	安房神社高坏	大神宮	×
65	有形文化財(考古資料等)	坂井翁作古墳出土 環頭の大刀・圭頭の大刀	坂井	△本館
66	有形文化財(歴史資料)	高瀬家文書	那古	○本館
67	民俗文化財(有形)	狛犬・燵簀・木腕	大神宮	×
68	民俗文化財(有形)	洲崎神社神体髪	洲崎	×
69	民俗文化財(有形)	舎那院山の磨崖佛	大網	○
70	民俗文化財(有形)	寺赤組山車	那古	△7月第3日曜日を含む土日
71	民俗文化財(無形)	洲宮神社御田植神事	洲宮	△1/1
72	民俗文化財(無形)	船越鉦切神社かっこ舞 海南刀切神社かっこ舞	浜田 見物	×
73	民俗文化財(無形)	藤原神社獅子神楽	藤原	△8/10
74	民俗文化財(無形)	古茂口獅子神楽	古茂口	△10月第2土曜日
75	民俗文化財(無形)	敵島神社の湯立神事	西川名	△成人の日の前日
76	民俗文化財(無形)	山荻神社の筒粥神事	山荻	△2/26
77	民俗文化財(無形)	鶴谷八幡宮の筒粥神事	八幡	×
78	民俗文化財(無形)	神余日吉神社のかっこ舞	神余	○
79	民俗文化財(無形)	柏崎の御船歌	沼	△8/1、2
80	民俗文化財(無形)	新井の御船歌	館山	△8/1、2
81	記念物(史跡)	安房国分寺跡	国分	○
82	記念物(史跡)	館山城跡	館山	○
83	記念物(史跡)	雄誉上人墓	大網	○
84	記念物(史跡)	大寺山蔵窟墓及び出土品等	沼	△本館
85	記念物(史跡)	三義民刑場跡及び墓	国分	○
86	記念物(史跡)	大神宮義民七人様の供養碑	大神宮	○
87	記念物(史跡)	やぐら	水岡	×
88	記念物(史跡)	孝子塚	国分	○
89	記念物(史跡)	館山海軍航空隊赤山地下壕跡	宮城	○
90	記念物(天然記念物)	オオウナギ	佐野	×
91	記念物(天然記念物)	沼のびやくしん	沼	○
92	記念物(天然記念物)	沼サンゴ層(南条の沼サンゴ)	南条	○
93	記念物(天然記念物)	那古山自然林	那古	○
94	記念物(天然記念物)	那古寺の大蘇鉄	那古	○
95	記念物(天然記念物)	手力雄神社の大杉	大井	○
96	記念物(天然記念物)	滝川のびやくしん	山本	○
97	記念物(天然記念物)	諏訪神社自然林	正木	○
98	記念物(天然記念物)	六軒町のサイカチの木	北条	○

国選択 3件

番号	種別	名称	所在地	見学
99	無形文化財	唐棧橋	長須賀	○分館
100	民俗文化財(無形)	洲崎踊	洲崎	△8/20
101	民俗文化財(無形)	南房総地方のミノコドリ	波左間	△7/1

県選択 1件

番号	種別	名称	所在地	見学
102	民俗文化財(無形)	房総のミカリ習俗	洲宮	×

登録 8件

番号	種別	名称	所在地	見学
103	有形文化財(建造物)	鈴木家住宅主屋	沼	△
104	有形文化財(建造物)	鈴木家住宅蔵	沼	△
105	有形文化財(建造物)	鈴木家住宅表門	沼	△
106	有形文化財(建造物)	紅屋商店店舗	長須賀	○
107	有形文化財(建造物)	紅屋商店主屋	長須賀	○
108	有形文化財(建造物)	巴橋	犬石	○
109	有形文化財(建造物)	洲崎灯台	洲崎	△
110	有形文化財(建造物)	小高記念館	館山	○

○見学可 △外観の一部見学可又は時期によって可 ×見学不可
 ・「本館」は市立博物館本館、「分館」は渚の博物館(館山市立博物館分館)で展示しています。
 ・○または△であっても修理や展示替えなど状況により見学ができないことがあります。

